

【考え・基礎知識】
清掃に必要な手順が説明できる。

【つながり】
汚れ方に応じた清掃の仕方を工夫することができる。

【応用・ひろがり】
家庭生活の中で、清掃についての課題を見つけ、環境への配慮を含めた解決策を提案することができる。

- ◇ 学年 第6学年
- ◇ 題材名 あなたも清掃名人になれる？！
- ◇ 題材の目標 学校や家庭で清掃を行うことにより、清掃に関心をもち、清掃の仕方を理解し工夫して清掃ができる。
- ◇ 題材の計画 (全 11 時間)

| 学習活動 | 時数 | 指導上の留意事項 |
|--|-----------------|---|
| <p>課題の設定 (2)</p> <p>○清掃をしなかったらどのような生活になるのかを考える。 ・ここだけはいつも清掃しておく必要があると思うところをリストアップする。</p> <p>○どのようなことを知っていたら清掃がうまくできるか話し合う。 ・出た意見をグルーピングしてまとめる。</p> <p>○「地域で自主的に清掃をしている」、「昔からの清掃を知っている」等の地域の清掃名人から、清掃の意義や工夫について話を聞く。</p> <p>○本題材では工夫して清掃をすることを知り、考えたことや聞いたことを基に学習課題を設定する。 『どうすれば汚れた場所をきれいにできるのか?!』</p> | 1 1 | <p>★学校で毎日行われている清掃について、改めてその意義を問うことで、清掃についての課題意識をもたせる。ゲストティーチャーを招聘することで、今まで気付かなかった新たな視点に気付かせる。</p> <p>○児童から出た意見を基に、清掃に必要なこととして、「汚れの種類を知ること」、「清掃に必要な用具を考えること」、「汚れに応じた清掃方法を考えること」等の視点があることについて補足する。</p> <p>○2人のゲストティーチャーを招くことにより、清掃への思いに触れさせるとともに、きれいにするための工夫等に気付かせ実践への意欲を喚起させる。また、環境に配慮した清掃の工夫があることにも気付かせる。</p> |
| <p>情報の収集 (3)</p> <p>○学校の中で汚れがある場所を探し、汚れの観察を行い、汚れを落とす方法や用具について、情報を収集する。 ・学校を探検し、汚れを探し観察し、きれいにする場所を決める。ICT 機器やセロテープ等で集めた汚れを記録しておく。 ・汚れを落とす方法について調べる方法を自分達で考える。考えた方法(家族や地域の方へのインタビュー、インターネット、資料等)で調べる。また、ゲストティーチャーの話を想起し参考にする。</p> | 1 2 | |
| <p>整理・分析→まとめ・創造・表現 (3)</p> <p>○自分たちで調べたことを基に清掃の計画を立てる。</p> <p>○調べた方法で学校内を清掃して、清掃前と清掃後を ICT 機器等で記録しておき、比較したり清掃の過程を振り返えったりすることを通して、成果や課題の分析をする。実践をレポートにまとめる。</p> <p>○調べたことや実践したことを報告する会を設け、他のグループの実践に学ぶ。</p> | 1 1 1 | <p>★身近な学校で、実際に汚れを調べたり観察したりする実践的・体験的な活動を取り入れることにより、汚れに合った清掃の仕方について、具体的な解決策を導き出せるようにする。</p> |
| <p>新たな課題の設定 (1)</p> <p>○学校での清掃を生かし、家庭での年末大掃除に向けて、清掃してみたい場所を決め、きれいにする方法を考え清掃の計画を立てる。</p> | 1 | <p>★年末大掃除の時期に本題材を扱う等の工夫により、学校から家庭への実践へと広げ、「家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度」を育てる。</p> |
| <p>まとめ・創造・表現 (2)</p> <p>○冬休みに実践したことをポスターセッションにより発表したり、交流したりする。清掃場所が同じ者同士でグループを作る。</p> <p>○家族や友達に肯定的な評価をもらう。成果や課題について各自でまとめる。</p> | 2 | <p>○学級懇談会や家庭科だより等により、保護者に学習内容を伝え、実践についての気付きを手紙に書いてもらい、児童に渡し、実践することの心地よさを感じさせる。</p> |